

■ 前回までのあらすじ

Cult of Devourer 達を殲滅した一行だったが、ゲートを開けるオペレーションの途中で Osteth は犠牲となり、しかも最悪のタイミングで Corpse Fleet の大艦隊が Gate of Twelve Suns に到来！ PC 達は知らぬことだが、実は Sunrise Maiden には Corpse Fleet のビーコンが仕掛けられていたのだ (Perception not allowed)。太古の AI の導き手を失った今、彼等はどのような行動に出るのか？

■ Stellar Degenerator へ

Corpse Fleet の旗艦、Empire of Bones に突入するのではなく、一か八か Stellar Degenerator に突入することを決めた PC 達。シナリオ的には全く予期していない展開なのだが、まあそうなることも十分ありえるよね....。

一度決めたら道はたやすく開ける。コントロール衛星を飛び立った Sunrise Maiden 号はピーチリーフの安定した (take10) 運転で飛び交う閃光をすいすいと避け、Stellar Degenerator に到着することが出来た。

Stellar Degenerator 自体は起動はしており、バリアらしきものは張っているが、攻撃はしていないようだ (艦隊とやり合っているのはコントロール衛星群に搭載の兵器)。 Sunrise Maiden が近づくと、一部バリアが解除されて、最寄りのデッキに到着することが出来た。どうやら、Osteth が Sunrise Maiden を何らかに登録しておいてくれたようだ。

ゼリー状の気密ロックを通り抜けると、そこは広いハンガーだった。歩みを進めると、向こうからシナリオ 1 で出会ったような赤いガードロボットが 8 体近寄ってくる。ただし、ここにいるロボットは壊れていないようだ。

電撃攻撃が少しだけ痛かったとは言え、ガードロボット達はあっという間に粉碎されてしまった。その後、ネズミがセキュリティ機構に自分たちを登録したことで、ガードロボットには襲われなくなった。また、中央制御室と思われる部屋の場所も判った。

■ G ガンのコントローラ

中央制御室にはいくつか端末もあったが、調べてみると、この端末は Kishalee のもので、もともと Stellar Degenerator を作った Sivv という種族は、端末とは異なる制御方法を採用していたらしい。それは、ダイレクト・フィードバック・システムで、有機体の神経系とシステムを繋ぎ、直接的に機械を操作するものだった。繋いだユーザの得意な運動系にインプット・アウトプットを変換することで、コンピュータが得意でなくても複雑な機械を繊細に操作できるという機構らしい。

このシステムが使えるば、少人数でも Stellar Degenerator を動かせそうだが、Sivv と人間の機構は異なる。しかし、Kishalee 達もこの DFS を一部改修していたようで、Kishalee 用のデータは見つかった。ここで、前に Kishalee 用の再生装置を修理した経験を活かし、ネズミ、ピーチリーフ、フィラー、ピノがシステムを改修することで、Pact World の住人達でも装置を使えるようにすることが出来た。

操作ができるとしても、権限を越えてシステムを掌握するためには防御プログラムを突破する必要がある。防御プログラムとは、電腦空間上で物理的に戦えば良いということが判ったので、6 人でシステムにダイブする。

電腦空間に浮かんでいたのは、青色のドラゴンだった。肩にはフリーアクションで発射できるランチャーを装備している。どうやら、防御プログラムは接続者達が思い描く強い生き物としてレンダリングされるようだ。また、接続装置を急ごしらえで作ったため、何人かは感覚と同期が取れず、混乱していた。

ドラゴンは、そこそこ痛いプレスを吹いたりそこそこ痛いマイナードラゴン乱舞をしたりしていたが、なにか搦め手があるわけでも、圧倒的な攻撃力を誇るわけでも無く、そのうちやられてしまった（Starfinder システムだとドラゴンみたいな生き物はこうならざるを得ない）。

■グラビティ・ブラスト斉射

システムを掌握した一行がモニタを確認すると、衛星上の兵器群は Corpse Fleet によりおおむね破壊され、艦隊は Degenerator を取り囲みつつあった。慌ててシステムを確認すると、凄いダメージ（ $1000000000d100 \times 10$ ）を出す主砲の Degenerator Canon 以外にも、大量の重力兵器が積んである。副砲の Gravity annihilator（ $10d6 \times 10$ ）は Sunrise Maiden の兵装の 50 倍程度の威力の重力波発射兵器で、とりあえずグラグがこれを敵の旗艦目がけて撃ってみた。すると、経路上に無数にいた敵の小型艦船を粉碎し、相手のバリアを吹き飛ばし、敵艦の船体を半分ほど吹き飛ばした。敵艦も慌てて主砲の Ultra Plasma Canon（ $9d6 \times 10$ ）を撃ち返してくるが、初撃で大ダメージを受けすぎたのか、ミス。

Empire of Bones かなりの腕の乗り組み員が操作していると思われ、巨大な宇宙船にしてはアクロバティックな機動で何発か主砲を撃ち込み、Stellar Degenerator のバリアを破って船体にダメージを与えるも、片や全長 10Km、HP1050 点に対して、Stellar Degenerator は全長 30Km、HP3200 点である。技量で覆せるような質量差ではなく、Gravity Annihilator や Gravity Canon（ $2d6 \times 10$ ）の斉射を食らって爆発四散してしまった。

残存する普通の大型船も相当し、辺りの宙域には無数の残骸のみが漂うばかりとなった。

■提督の来襲

戦いは終わったと Stellar Degenerator の破壊方法を検討していると、艦内への侵入者が発覚。相手は Undead のようだ。あれよという間にガードは突破され、コントロールルームに 6 人のアンデッドがなだれ込んできた。

information-extraction expert の drow nihili : Kreth、密かに下克上を企む human pale stranger の Malakar、艦長の vesk mohrg : Ghurd Nashal、その右腕のメカニック、elebrian ghoul : Renzar、提督の僕でパワードスーツのアンデッドである gatecrusher、そして Corpse Fleet の提督である elebrian necrovite : Admiral Serovox その人の 6 人組、つまりは本来のシナリオに登場する Named の敵全部詰め合わせパーティだった。

ピノはコントロールルームの高いところにある玉座的な場所で仁王立ちになり、彼等を待ち構える（ただし椅子の背のほうから敵がやってきたので、背の上から顔が出ているだけ）。そして、Admiral が、「まさかこの兵器を乗っ取って攻撃してくるとは思わなかったよ」などと言っているのをスルーして強力な閃光弾を投げつける。結果、4 人が目が見えなくなり、序盤の戦いは PC 達の優位で進んだ。

plae stranger の Malakar は二丁拳銃で 4 回攻撃もしてくるインチキクリーチャーで、目が見えないにも関わらず確実に当ててくる。Filler が Wall of Fire を張るも、これは Serovox が Greater Dispel で打ち消し。とはいえ、Serovox は 6Lv キャスターの貫禄を果たせない（というか呪文リストが悪い）。そうこうしているうちに Malakar は滅ぼされ、次いで Gatecrusher も倒された。が、Morhg はブースターで飛行し、後衛陣を麻痺状態にすべく立ち回る。結果、ピーチリーフが麻痺させられて戦闘から除外されてしまった。

しかし、その内船長 Morhg も倒れ、そのお供のエンジニアもエンジニア対決に敗れ、Serovox は追い詰められる。ここで、彼は敵の一群の中に、アンデッドがいることに気がつく。そして necrovite の特殊能力：コントロールアンデッドが発動。Susei は敵に操られてしまった。

しかし、Susei の攻撃は Grag には命中しないため、Susei はオーラでダメージを与える作戦に変更。

しかもポジショニングが絶妙に邪魔で、Serovox は「使えない奴」とののしる（ただし Nezumi は Serovox に攻撃が当たらないので、Susei を撃とうとしたりしていた）。そうこうしているうちに、Susei は 1 日 1 回の再セーブでコントロール状態から脱出。Kreth は倒され、Servox も逃げ回りながら Explosive Blast を撃っていたが、Pino が Move を増やした Gragg に追いつかれ続け、切り倒されてしまった（Susei は Explosive Blast に巻き込まれて動かなくなっていた）。

■ Stellar Degenerator の最期

激しい戦いは Starfinder 達の勝利で終わった。きっとあるだろうと思った自爆シーケンスは Stellar Degenerator には特段存在しておらず、とはいえ、重力兵器を暴走させれば、自壊させることが出来そう。

ただし、このためにはかなり最期の瞬間まで、絶妙なコントロールをする必要がある。そこで、Sunrise Maiden を持ってきて、Drift エンジンを起動させておき、操作が終わったらダッシュで船に乗り込んで Drift 離脱、という方法で行くことにした。船側で待機するのはピノだったが、特段ここで裏切ったりすることは無く、また Stellar Dengerator の崩壊よりも早く PC 全員が船に乗り込めたため（= Initiative が良かった）全員が無事に脱出することが出来た。

こうして、Stellar Degenerator は重力崩壊を起こし、Gate of Twelve Suns と共に圧壊した（太陽 12 個分の質量があるので、多分ブラックホールができた）。

PC 達は Absalom Station に戻り、今回の事件を協会に報告して大きな名声を得た。また、Kishalee 文明の第一人者として、その後も調査と冒険を続けたという。なお、滅びた Susei は再び Undead として復活。結局、生者に戻ることは無かったそう。

（おわり）